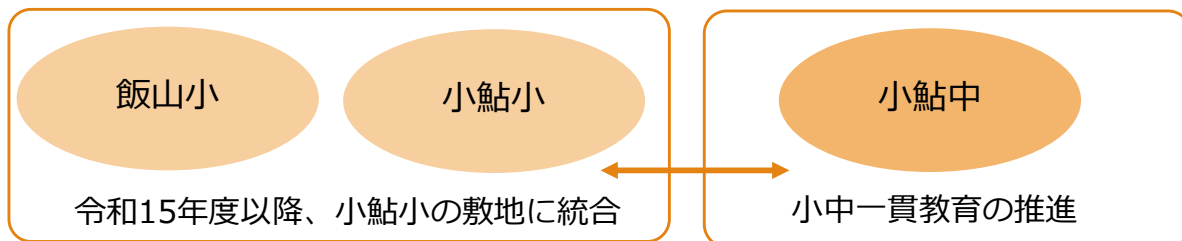


小鮎の新しい 学校づくり通信

第2号 令和7年4月
発行 厚木市教育委員会

「小鮎の新しい学校づくり」について

厚木市では現在、小鮎地区において、児童・生徒が多様な人間関係を育み、より良い学びを実現できる環境づくりに向けて、学校規模の適正化や小中一貫教育などの一体的な推進を検討しています。将来を見据え、教育環境の充実と学びの質の向上の実現を目指します。



地域のこどもたちの想いを大切にする学校づくり 小鮎地区の新しい学校づくりアンケートの結果

市の教育モデルの先駆けとなる「新しい学校づくり」に取り組むに当たり、直接の当事者である地域のこどもたちの気持ちや考えを知るため、次のとおりアンケートを実施しました。

【対象】小鮎中学校1年生、小鮎小学校及び飯山小学校6年生

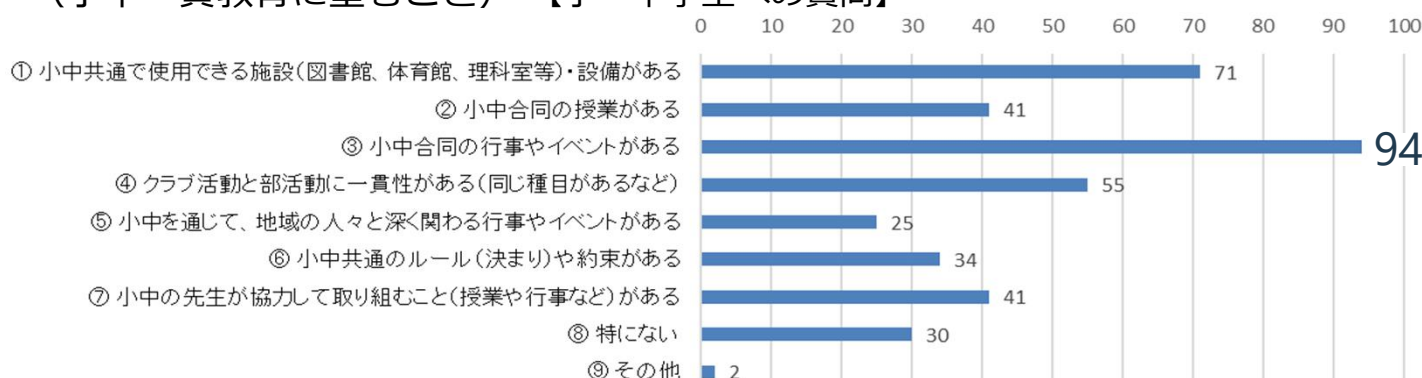
【期間】令和7年2月25日（火）～3月21日（金）

質問 小学校から中学校へ進学したとき、違いを感じたこと。（中学校進学時のギャップ）【中学生への質問】



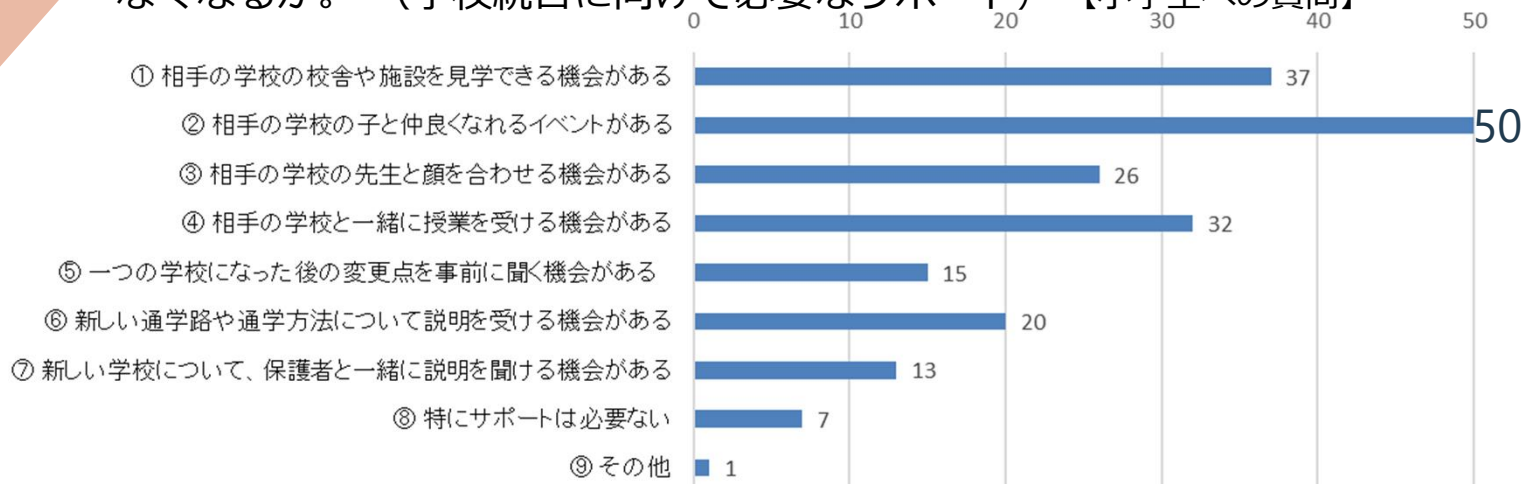
➡ 中学校進学時に授業に関することや学校のルールに違いを感じた生徒の割合が高い

質問 小学校と中学校がつながっている学校では、どのようなものがあると良いか。（小中一貫教育に望むこと）【小・中学生への質問】



➡ 小中合同の行事やイベントなど、小・中学生が一緒に取り組む項目に対する回答割合が高い

2つの小学校が1つになる前に、どのようなサポートがあれば不安などが少なくなるか。（学校統合に向けて必要なサポート）【小学生への質問】



👉 相手の学校の子と仲良くなれるイベントを希望する小学生の割合が高い

※アンケート結果全体は市ホームページでご覧いただけます。（本ページ右下のQRコードからも閲覧可）

みんなでつくる、地域に根ざした学校づくり

令和6年度小鮎いどばた会

令和7年2月16日に令和6年度小鮎いどばた会（主催：小鮎いどばた会実行委員会）が「小鮎地区における“新しい学校づくり”」をテーマに、開催されました。

当日は小鮎中の生徒や各小・中学校の児童・生徒保護者や学校教職員、地域の方々など42人が参加。

教育委員会から取組についての説明後、参加者によるグループディスカッションの実施・発表が行われました。

[通学の安全について]

- ・小鮎川の橋の整備は重要。学校の統合を起点とした計画性を持った地域づくりを進める
- ・飯山地区から小鮎中学校へ行く際に県道を渡るのが危険

[新たな理想の学校について]

- ・弾力性のある教育課程のもと、小・中学校でのクラブと部活動を融合させ、中学生が小学生に教える
- ・小中一貫校の整備

[学校跡地について]

- ・防災面も考慮しながら人を呼び込める施設を整備（道の駅、スポーツ施設、宿泊施設、フリースクール、老人ホーム、図書館など）



今回のアンケート結果や御意見を踏まえ、新しい学校づくりに取り組みます。

今後のお知らせ

今後の小鮎地区の新しい学校づくりの取組状況について、市ホームページや回覧板で随時お知らせしますので、ぜひご確認ください。
新しい学校づくりについてのお問合せは、教育総務課までご連絡ください。

小鮎地区の
取組状況は
こちらを
ご覧ください。

